京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年

本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太

印刷人　松久神一郎

京城西署西小門通（電話六六三）

發行所　京城新報社

論説

日露協約の價値

▲大隈伯爵の談

從來の傳ふる所に據れば日露新協約の要旨は極東に於ける滿洲及び清國の領土並に行政上の現狀を維持し且つ鐵道上の利害を統一せんとするに在るが如し斯くの如きは從來兩國政府の實行し來れる所なれば今改めて協約締結をするの必要なく隨て新協約の實効如何を疑はざるを得ざるが如きも元來協約及び協商に對しては締結と同時に其實効を要求するは野暮の頂上にして外交は斯くの如き平凡無用の協調を遂ぐるに云ふべからざる妙味の存するを忘るべからず勿論滿洲に於ける日露の利害は最近頗る相密接したるに拘はらず滿鐵及び東清鐵道の聯絡は勿論其他調整せらるべくして未だ調整せられざるもの二三あれば此の期に際し凡ての點に於て兩國の關係を一層親密ならしむると共に日露清三國間の關係及び利害を列國に對して明瞭に聲明し置くは一見無益なるが如くにして實は將來多大の實効を收め得べき有益の事業たるべし是れ余が日露新協約の成立を歡迎する所以にして從來低氣壓なる極東をして漁夫の爲めに乘ぜしめざらんとするの道此の外にあるべからず

滿洲の經濟狀態

先頃約一ヶ月滿洲を觀察したる横濱正金銀行頭取高橋是淸男の談話左の如し

▲滿洲と金融　正金銀行が將來三百萬圓を有利有益に貸付くるは蓋し至難の業に屬す、殊に貸付か抵當が不動產なるの事情は一層不便を與ふべし、唯擴く開放に伴ふ商工の振興に關しては都督府、事業家、正金銀行の三者提携の必要あるべし尤も滿洲の事業界が兩三年以前とは大に趣を異にし射倖者流漸次跡を絶ちて着實なる人々の増加したるは大に喜ぶべし

▲大豆其他　昨年上海サミユール商會が滿洲大豆の見越賣買契約をなし百廿萬圓の大損失を招きしは有名の事件なるが、是の一斑を推すも同地の大豆が如何に貿易に大關係を有し且外商が如何に勇敢なる商ひ振りを示せるかを窺ふに足るべし、尙油房事業は有利の事業なるも、搾油過度なるときは油粕の需要減少する爲め困難を感じ居れり

▲事業の概况　尙大豆は近來アフリカにも試作され好成績を得たりといへば將來或は滿洲大豆の勁敵となるべきか乎尤も安奉線完成の曉には沿道大豆の搬出便利となり輸出高一層増加すべし、唐芥子、支那棉を材料とする脫脂綿高粱にて作るパルプの輸出亦盛なり唯今や射倖者流が安奉沿線に集注したると支那人の競爭あるとに因り雜貨商は不景氣を極め陸續引揚げつゝあるは惜むべし

日露協約と米國

日露協約締結の交渉は實に一ヶ年前より彼我當局の間に着手せられ居たるが如し而して近く愈々成立發表の曉は日露兩國の政治上經濟上の關係は愈々密接に連鎖さるべく第三國は自然直接間接其主義及び權利を制限さるゝ事となるべきが中に就て米國現政府從來の行動は最とも影響を受くるを免れざるべく想像せらるゝ而て之が爲めノックス國務長官により提唱されたるタフト氏の對東洋策は挫折するの已むなきに至るべきがタフト氏の聲望近來兎角前大統領の如くに旺ならず加ふるに共和黨內訌の侮り易からざるありタフト氏の前途また多事ならずとせじ云々とは某消息通の語る所なり

日本大豆の用途

農商務省は最近に於て各地方廳をして大豆の用途別及び消費額を調査せしめたるに左の如くなりき

▲味噌製造用大豆　二、八一三、八三六石四八二合全國に於て一箇年內に消費すべき味噌の總額は一億五千六百三十二万四千二百四十九貫匁にして其一貫目製造に要する原料大豆は一升八合なり

▲豆腐製造用大豆　八九〇、三五八石七一八合全國に於て一箇年間に消費する豆腐の總額は六千六百九十四万四千二百六十四貫匁にして其一貫匁製造に原料大豆一升三合三勺を要す

●醬油釀造用大豆　六〇〇、〇〇〇石全國に於ける最近三箇年平均醬油釀造高百九十二萬四千石にして其醪六十五石二斗を造るには大豆約二十石の見積りなり

●大豆油糟製造用大豆　七四、〇三九石大豆一石より大豆油糟三十二貫二百五十匁を生產し得るの割合なるを以て大豆油糟生產額により換算す

▲綠肥種子用大豆　一八〇、〇二四、石八〇〇

▲肥料用大豆　四二〇、〇七二石五〇〇即ち味噌製造用大豆は全量の半數以上を占め豆腐製造用醬油釀造順次之に亞げるが其外尙は菓子煮豆豆粉等食用に供すべきものあれども其數量は大約二十萬石以內なるべく別に調查の據るものなきを以て之れを詳にすることを得ずといふ

●六月中の京城氣象

六月低氣壓の通過頗る頻繁にして揚子江に起り黃海に出て韓國を橫斷せしもの及蒙古附近より滿洲を經て北韓を刧迫せしものと接踵一去一來し就中四日より五日に亘り南滿洲を掩壓せし低氣壓は風雨全韓に渡り當地に於ても四日雨量三十二粍を測り五日午後三時最强風速度西十三米七に達せり又十八日夜西朝鮮灣に現はれし副低氣壓は中部以北に雷雨を催し龍岩浦に八十三粍京城に五十七粍の多量を降らせりされば全月を通じ陰鬱の天氣多く快晴日數は二日にして曇天十五日を算し日照時數は甚寡少にして降水量多く合計百八十三粍三は昨年及平年の殆んど二倍に當り前月に比し百倍以上の潤澤を呈し蒸發量より二十六粍四多く上半季の平年雨量より尙過剩なり從つて氣溫の逓昇は遲緩となり平均二十度零は前月より三度六上昇し昨年及平年より稍低度にして最低氣溫は五日十二度四を示せり然れども晴燥の日は氣溫俄然急騰し十一日十八日及三十日の如きは最高氣溫三十度以上に昇り却て炎熱を感ぜしこともあり（京城測候所）

項目	本年	昨年	平均
平均氣壓粍（平）	七五二、〇	七五二、七	七五二、六
平均氣溫（攝氏）	二〇、〇	二〇、八	二〇、九
最高氣溫	三二、五	三二、七	三三、七
同上起日	十八日 三十日	一日	隆熙二年 二十三日
最低氣溫	一二、四	一二、二	一二、二
同上起日	五日	十日	同三年 十日
蒸發量（粍）	一五六、九	一九九、三	一七三、九
降水量（粍）	一八三、三	八〇、九	九九、〇
降水日數	一二	一一	一〇
快晴日數	二	二	一
曇天日數	一五	一三	一四
雷日數	五	三	二

文苑

▲春歡公餘存拔翠

朝鮮牙山戰報

鐵嶺風光定奈何。天兵今日捲旋過。當從軍誰記年事。鬼哭猿啼興感多。

講談

大岡政談 越後傳吉　第十五回

旭堂南陵講



四『そんな可哀相なことをもしてやる奴』安『ところがそれでも先手が餘るといふので、二人振の仕事を遣てゐるやうな譯なのです』四『アヽ豪いもんぢやア』安『ありやア豪いの豪いの、何のつて話になりません、その上人間は正直過るほど正直で、陰日向のないことは驚いたものです紙屑が落てゐると皆なチヤン／＼と拾つて置て、金にするといふ位ゐ、金にしたからつて勝手には遣ひません、私の方へ持つて參りますからお前に與うといつてもなか／＼取ません、御主人樣の家で落ちてゐる物は御主人樣のものになるのが當然、奉行人の私共が貰ふ譯はないてなことをいひましてなで、すから私の手に預つてありますけれども』四『さうかい、マア安兵衛さんうんな人間は珍しい、一遍樣子を見せて貰ひませう』四郎左衛門さんなり裏へ來ると米搗場、向ふ鉢卷を締込んで傳吉ドン／＼米を搗て居る、米を搗いて居る前へ四郎左衛門とヨッコリ立ました大概の者なら旦那に會ふたら、恰然大名の殿樣が御通行なさるやうにボンと降て、旦那樣でござゐますかと鉢卷を取て頭を低げますが傳吉はさうぢやアない、追從もしねへ　傳『何だい、乃公が仕事して居るとこへ立つて旦那どん見て御座るだ、旦那どんへ挨拶をしたりして居りやア仕事が出來ねへ』ドン／＼と米を搗きながら　傳『ヤア旦那どんでござつたかい』一言いつただけで何にもいやアしません四郎左衛門これを見て　四『アヽ成程こりやア宜いな、これでないと不可い』搗いてる最中に傳吉の油斷を考へて、何思ひけん二歩金を一ツポーンと臼の中へ放り込んで知らぬ顏をして戾つて來た、此方ア傳吉漸く搗いたものですから臼の中の米をドン／＼取上げる中にピカツと光つた　傳『アレツ、』吃驚いたした傳吉見ると二歩金　傳『アレ豪いことになつただ、これ金が二歩入つてるだ、大ねてこが出來た、』その金を掴むと顏の色を變へて飛で來た　傳『旦那樣々々、』丁度四郎左衛門と番頭の二人が話をして居るところ　四『何だ／＼』傳『ゑらい事が出來ました』四『何か粗相したんか』傳『粗相したでねへだ、乃公ね米搗てますと、臼の中からこんな金が出ました、ゑらい事でございます、臼の中からこんな二歩金が一つ出ました、金が出ました』四『さうかい、お前の搗てる臼の中から』傳『へイさうでございます』四郎左衛門が　四『アヽさうか、ゑらい物が出たな、そりやアお前に天道樣から授かつたもんだ、番頭どんこれを遣んなさい、傳吉の搗てる臼の中から金が出るといふのは、天道樣から授かつた金だ、遣んなさい』安『旦那樣があゝ仰しやるから取つて置きなさい』傳『何いふだい、飛んでもねへてどといふまいもんで、天道樣何のために金をくれうか、乃公斯うやつて御奉公して御給金を貰つてるんだ、この金は乃公は取りましねへぞ』四『取らねゑと』そらゐの金でそんな大騷動するのは嫌　傳『だアー／＼、お前取て置きなさい乃公は取らねへだ、乃公は落した人にこの金を屆けますだ、乃公こんな金身に着ける覺がねへだ、どうか早々調べ上げて下せゑ』四『そんなこといつたつて困るぢやないか』傳『困るつてこの二歩の金がないから困つて御座る人もあるだろう乃公の考へでは誰か米の中へ落して置た金に違ねへだ、調べて下せゑその人に渡し申さなきやアなんねへ』四『調べるといつてどう調べる』傳『どない調べるといつてこの米は何處から持て來たでがす』四『こりやア私の方で買込んである田地、それを百姓に小作をさしてある、それが作つて持て來た』傳『それから調べたら何うだい』四『うんなことをしちアや大變だ』傳『大變だもねへもんだ、この米を何所で作へたか、またこの米俵を何所で作へたか、それから調べて來りやア分らぬ事はなかろう』四『コレ／＼二歩

海軍擴張論

於東京經濟學協會 阪谷男爵講演

日露戰爭のために列强の權力の平均は破れ其結果が如何なる方面に現はれしかは列國識者の注目を惹きたる處なるが其後に於いて協約とか接近とか盛に發表せられたり、就中著しく現はれしは海軍擴張問題なり、之が直接の原因については先年日獨爭ひあり「日本の薩摩建造が導火線となりたりといひ或は英國のドレッドノートが導火線なりとも云ふ然れども事實はドレッドノートの進水が流行の原因をなせり隨つて英獨の海軍擴張費の如き最近數年間に於いて激增し米國孫に然り其他伊太利墺太利皆然り其結果英獨間には海軍擴張制限說も起り又墺、伊間にも協定起るといふ有樣なり英獨の相談は不調に終れるが現に角右の如き擴張熱の流行せるより日本に於いて勢ひ計畫なきを得ざるに至れり唯其負擔を如何にすべきかゞ問題にして之については各國に於いて爭議あり、獨逸に於いても此問題のためビューロー公去り英國に於いても之がために少からぬ豫算の不足を生じて今日の大問題となり米國亦海軍のために困難せり、從て此負擔を免れんがために平和協會なるものあり併しながら歐米に於いて盛んに擴張する以上は我國に於いても適當の方法を講ぜざるべからず殊に滿洲韓國に密接の關係を生じ來りたる今日之を聯結すべき對馬海峽のある間は如何にしても海軍の適度の維持によりて常に其聯絡を保たざるべからず從て之に處するの方法を考へざるべからざるが第一海軍擴張に關する新聞雜誌に現はるゝ議論は主として財政と云ふ基礎の上に論ぜられつゝあるも之は當を得ず、思ふに海軍擴張は財政問題にあらず海軍擴張は國家安危の問題なり國家安危の問題については財政の許すと否とを問ふを得ずと信ず列國の海軍勢力が變化せる今日日本にたいてのみ依然として從來の勢力に放任せざるべからざるの理なし然らば之れを如何にすべきか今日に於ける海軍の競爭は如何なる點に於て競爭あるかを先づ考へざるべからず、或は單に軍艦噸數の競爭なるが如く考へらるゝも歐米の海軍競爭は夫れ以上に進めり噸數砲數は勿論なるが英獨の競爭は砲の製造力により海軍費の多寡を論ずる迄に至れり我國も現在の噸數のみに止らず短時期に有力なる軍艦を製造することに重きを置かざるべからず、さすれば自然我國の商工業も同時に進歩の著きものあらん獨逸も海軍のために鐵類器械類の製造に進歩を與へたるは事實なり、英國も亦然り故に我國が海軍を擴張するに於いては第一內國に於いて之を製造するの方針を取らざるべからずこれは兵器の獨立その他の意味に於いても勿論なるが一方に工業を獎勵するの必要上益々その方針を取らざるべからず第二は海軍擴張の財源としては戰時に於ける緊急の場合は兎も角平時に於ては普通歲入を以て支辨するを至當とす經濟上より見れば先づ此二點を考慮の內に置かざるべからざるが只軍備のための負擔を豫防するの法については大に講究せざるべからず平和協會の如きは注意研究を要する問題にして今日の如く競爭激烈なるに於いては之により各國負擔を免るゝの工風なかるべからず云々

東京電報

▲**三皇孫御避暑** 三皇孫殿下には來る八日小田原御用邸に御避暑の御豫定なり(六日)

▲**商務官制內容** 商務官官制は特別任用令に關する規定と共に近々發表の筈なるが其の要點左の如し(同上)

一、商務官は外國に於ける我が商業貿易の保護發展を計るものとす一、商務官定員は四名とす一、商務官待命は外交官待命を適用す一、商務官の待遇は勅任及奏任とす

▲**海軍擴張方針** 桂首相は明四十四年度には斷じて海軍の新計劃を爲さず四十五年度より海軍側の希望を容るゝ事とし徐ろに財源調査を爲す方針なりと(同上)

▲**佐久間氏留任** 臺灣總督佐久間左馬太氏は一箇年間留任する事に內定せり(同上)

▲**獨逸攝政王出發** 獨逸攝政王殿下には四日神戶發七日大連御着の御豫定なり(同上)

▲**羅馬博覽會出品** 來年三月一日より開催の羅馬美術萬國博覽會には本邦も參加し日本特別館を建設する事に決定し本年度に於て立坪二百五十坪此の經費の一部は羅馬事務局に於て負擔し日本政府は豫算金中より約三萬圓を支出する事に決定し古市博士の監督の下に設計中なるが桃山式佛寺型のものなりと云ふ(同上)

雜報

英皇太后の令旨

左は英國皇太后陛下が國民に對し下されたる令旨なり一讀英國皇室と國民との關係を知り得べし

わがやる方なき悲哀と言ひ知らぬ痛悼とに切なる同情を盡したる我が親愛なる全國民に對して、わがあはれなる破れたる心の深みより深厚なる感謝の情を表はさむ事を冀ふ。―われは我が愛せられたる良人の上なる總てのものを失ひつ。國民も亦其の良友、親父、君主を神の斯くも俄に召し給ひたるに由りて返らぬ失ひを被むりたり。―神は「御心のまゝに」われらの上に置くを正しと見給へる此の苦難の最重に堪へむ爲われらに聖なる扶助を與へさせ給へや、爾等の祈によりて、わが踏襲すべき所にわれをば慰め助くる志を與へよかし―高き、低き、富める、貧しき僭々の階級よりわが得たる同情の切なる文又は品に對して、一人々々に謝禮を述べむと思へど、多數の事とて意ふに任せざるめれば、茲にわが衷心の感謝を表はしぬ。―われは爾が愛子をづくしにわが愛子を託す。わが愛子は嚴父の跡を改めざるべければ、爾等はわが愛子の嚴父に致せしと同じき忠誠と獻身とをわが愛子に盡さん事を冀ふ。―われはわが愛子と其妻とが、爾等の忠誠と獻身とを得て之を保持するに恥ざるべく全力を竭さんを信ず。

千九百十年五月十日
バッキンガム宮 アレキサンドラ

山縣副統監の謁見

山縣副統監は六日午前十一時宇佐美參與官大城戶統監秘書官を隨へ昌德宮に參內韓皇及皇后に謁見せり副統監は國分秘書官の通譯を介して新任の御挨拶を言上せるに韓皇には最と御滿足に思召され且つ今回正副統監の新任を迎ゆるは朕の衷心より懌ぶ處なり希くは施政改善に就き一層盡力あらん事を望む旨宣はせられたる後韓皇には副統監の肥大なる體格を見詰められ痛く感嘆せられたるやに漏れ承はる尙ほ副統監と種々御心易氣に四方山の話を交はせられ約三十分にして副統監は退出し別項御陪食の宴に列せりと

東行閣の御陪食

韓皇には別項の如く新任副統監に謁見を賜はりたる後仁政殿東行閣に於て左の諸氏に御陪食仰付けらる

山縣副統監、大久保軍司令官、榎永師團長、石塚參與官、倉富司法廳長官、俵學部次官、明石憲兵司令官、小宮宮內府次官、木內農商工部次官、宇佐美內部次官、榊原軍參謀長、石井少將、及皇族一名各大官並宮內府勅任官等

御陪食中韓皇には副統監と並び坐せられ屢々副統監を顧みて打解けたる御物語あり特に昨日獻上を受けたる七寶入置時計の美事なりしを此上なく欣ばれ玉ひたりと聞く

韓國の布教問題

(寺內新統監の方針)

寺內新統監は韓國百年の長計を確立するには先づ國本信仰の根本問題に關し重を置く必要ありとし在來寧ろ閑却せられ居る傾ある布教問題に付專問家の意見を徵したる結果韓國にて現に數十万の信徒を有する米國宣敎師を厚遇し相待つて韓國の指導開發を計る方針を執る事となりたる由此は山縣公桂總理の風に着目せし所にして新統監政府の要項に加へ時局の要求に應じたるものにして一面內地よりは續々宗敎家を渡韓せしめ其の布教に盡力せしむべしと

●第一銀行員の叙勳

日韓金融界に多大の功勞ありたる第一銀行重役以下に對し左記の如く韓廷より叙勳の沙汰ありたり

	前第一銀行韓國支店總支配人取締役現韓國銀行總裁	市原盛宏
叙勳二等賜太極章	第一銀行取締役	佐々木勇之助
同	第一銀行取締役	三井八郞次郞
同	同	日下義雄
同	同	熊谷辰次郞
同	監査役	土岐債
同	同	小髙次郞
叙勳二等賜八卦章	支配人	西脇長太郞
叙勳三等賜太極章	第一銀行大阪支店長	西園寺龜太郞
同	橫濱支店長	石井賢吉
	前京城總支店副支配人	三島太郞
	現韓國銀行理事	木村雄治
同		竹山純平
叙勳三等賜八卦章	現第一銀行京城支店長	野口弘毅
	現一銀釜山支店長	太田三郞
叙勳四等賜太極章	前平壤支店支配人	中村光吉
	前一銀京城支店國庫課長	山田松熊
叙勳四等賜八卦章	前馬山出張所長	西川太郞一
	前鎭城出張所長	松澤太治郞
	前群山出張所長	麻生蓬
叙勳五等賜太極章		

共同倉庫營業成績

資本金十五萬圓
政府持株 全部拂込
民間持株 四分の一拂込
政府貸下金三十五万圓
前期繰越金五千圓
社長 趙鎭泰
支配人 林慶太郞

同社の本年前半期に於ける純益金は九千圓餘であるが無論本店の三千圓餘が最多額で、仁川、平澤、江景其他の各支店は何れも甲乙の無い成績である、支配人曰く、此の期は可なりの成績を收め得たりと、其主たる原因は、米の收獲季に方り米價が下落した爲めに、穀商の思はく買が多かつた、處が米は倉庫に入れられたまゝ動かなかつた、恁んな事らしい何が仕合せになるやら分らないものだ、夫れで一割二分の配當である、京城の本店には洋酒、煙草等も積まれる、韓銀の葉錢は大切なれ客樣である、

曾禰子益々重態

目下片瀨の別莊に靜養中なる前統監曾禰子の病狀は其の後一時少しく輕快に赴けるも復又五月下旬より病勢改まり病狀は直腸癌と決定し昨今衰弱を來したる上絶へず苦痛を感ずるを以て菊地主治醫は日夜詰切り時々注射し以て今日迄で餘命を繼ぎ來りたるが兩三日來屢々吐瀉を催ふするを以て一切訪客を謝絶し家族看護婦等十數名は日夜立替り看護に從事しつゝあり此分にては今月を經過する能はざるべしと

●內部次官訓示要領

宇佐美內部次官は五日內部へ登廳し部員一同を官房に集め既報の如く一場の訓示を與へたるが其要領は今回圖らずも岡氏の後を襲ひ內部次官の要職に就けるに就ては今後大に各員の經驗ある努力を要する事蓋し直に事務を處する事勵精に且つ繁文縟禮を避けて力めて簡明ならしむるを要す尙ほ同時に人民に接しては特に懇切周到ならん事を望む旨述へ之に對して土木局長猛劉地方局長澤田牛麿氏部員を代表して答辭を述べたりといふ

●李總理の二氏招宴

李總理は五日午後七時より岡、松井、若林の三氏をソンタクホテルに招待し送別宴を開きたるが出席の陪賓は各大臣及各部勅任官以上並に內部の各課長にして朴首相署理の挨拶あり之に對し岡前內部次官答辭を述べ互に健康を祝福して散會せり

●宇佐美參與官出勤

宇佐美新任內部次官は六日岡前次官より事務の引繼を了り本日山縣副統監に陪從して韓皇に謁見し七日より出勤する筈なり

教員養成の急務

京城居留民團は民團財政の膨脹と共に居留民の負擔愈々增大すべきを慮りて現在高等女學校を統監府に於て經營されん事を希望し其旨京龍合併の條件たらしめんと提議したり然るに統監府にては民團の希望は諒とするも在韓邦人發展の現狀に鑑み其子弟を敎養すべき相當の敎員養成の必要より師範學校の設立を急要事なりとし既に其計劃を立て文部省と交涉中なるが其理由を聽くに去る三月末日の統監府調査によれば在韓各小學校の生徒總數は一萬二千六百三十五人にし其敎員現在は三百七十二人なりとす之を吾が內地の生徒現在數三百萬七千二百六十九人に對し敎員十一萬六千七十人に比する時は內地は敎員一人に對し生徒三十八人強韓國は敎員一人に對し二十九人強に該當せり其割合より見れば韓國の敎授力遙かに餘裕あるが如きも殖民地の通弊として敎員交迭の甚だ多き殆んど意外の有樣なり則ち三百七十餘人の敎員ありと雖も年々五十人乃至六十人の轉免者を生ずるは從來の經過に徵して明かなる事實なれば一方に之を補充し行くの道を講ぜざるべからず而して之を吾が各府縣に需めんとするも現に敎員の不足に苦める各府縣は其供給を難んずのみならず折角縣費を投じて養成せるものを奪ひ去らるゝは頗る苦痛とする處なれば孰れも之を厭ふの狀なり隨て適當の材能を得る能はず偶々是あれば老朽若くは無能者なるを以て約一萬三千の學童を有する在韓小學校は此際是非師範學校を設立して相當敎員の補充を努めざるべからずと云ふ

●**仁川衛生講話會** 仁川衛會は今や季漸く酷暑の候に入らんとすると共に惡疫流行を未前に豫防すべきは同會の進んで執るべき務となし來る九日午後六時より同地歌舞伎座に於て適切なる衛生講演會を開催せらるゝ由なるが傍聽無料にして一般の來聽を希望すと云

●**馬山電氣起工期** 日韓瓦斯會社馬山浦電氣工事は目下技術者全部京龍工事に從事中なれば同工事完全の上起工さるべき豫定なれば竣工は來春ならん

●**湯淺氏仁川寓居** 元仁川署長たりし湯淺秀富氏は不日平壤を引き拂ひて仁川に來住する事に決し濱町に寓を定めたりと

●**農商工部の會議** 農商工部に於ては六日午前各局長各課長各書記官集合して重要なる會議を開きたりと云ふ

韓國銀行の總會

韓國銀行第二回株主定時總會は愈々來る八月十五日東京商業會議所樓上に於て開會する事に決定し近く株主に通知さるべし市原總裁は木村理事吉田秘書役を隨へ來月上旬東上する由

民團の繼承順序

龍山民團は五日限り廢止せられて京城民團へ合併せられたるに就き三浦京城理事官より古城京城民長へ宛て左の如く通知を發したり

一、龍山居留民團は合併の日に於て消滅し其他の地區は京城居留民團に編入せられたるものとす
二、龍山居留民團の有せし一切の權利義務は京城居留民團に於て繼承す
三、龍山居留民團の財務は合併實施の期日を限り打切り計算をなすものとす前項の決算は京城居留民團長より居留民會へ報告するものとす
四、龍山居留民の民會議員の選擧權及び被選擧權は合併の爲め中斷せざるものとす
五、龍山民團諸規則中合併後に於て存續せしむることを得ざるものを除く外京城居留民團規則として公布すること
六、豫算は追加更正の手續に依り受理するものとす
七、龍山民團長及會計役は合併に依り當然其の職を失ふものとす
八、合併の際現に在職せる龍山民團書記以下の吏員は別に辭令を用ひず合併後の京城居留民團に繼續任せられたるものとす
九、事務引繼手續は明治三十九年理事廳令第二號に準ずるものとす

●南韓商工調査終了

農商工部の着手せる韓國商工業調査は伊藤事務官主任の下に既に南韓一部の調査を終了し同事務官は去る四日歸京せり而して調査の結果に就ては孰れ報告せらるべき筈なるが同部は一般の參考に資せん爲め不日之を一冊子として發表する由なり

●鎭南浦民長の交迭

鎭南浦民長西村圭一氏は今回一身上の都合にて退職する事となりたるを以て秋本理事官は後任者に就き民會の意向を質したるに全會一致を以て現任商業會議所會頭原田鐵策氏を推薦したる由にて一兩日中統監府より正式任命あるべし因に原田氏は無報酬無手當にて居留地發展の爲めに盡くすべしと

最近の經濟概況

(韓國銀行報告)

昨年十一月當行の設立以來今日に至る迄の韓國經濟狀態を回顧するに從前の不振を繼承し商況は未だ活氣を帶ぶるに至らず工業は依然として發展の緒を萌く形勢なく殊に金融の如きは澁滯の如く頗る圓滑を缺きつゝあるを概言して大差なきの狀況なりと雖も細かに其經過の跡を尋ね詳かに四圍の事情を稽ふる時は無窮の理自ら進歩の現象を認め得可きは爭なき事實なりとす素より戰役後に於ける一時的膨脹の結果として將又輕佻に走りたる人心の反動として加ふるに暴徒の蜂起及び日本財界變調の影響等諸種の原因相錯綜し前三年間に涉る斯界の人心を銷沈せしめ容易に起つ事能はざるの打擊を蒙らしめたるを以て他の特種の事情にして茲に湧出せざる限りは到底人目を聳たしむるの發展を望む能はざるは勿論なるも分子の淘汰人心の制新は自然其間に行はれ終に堅實の方法に基きて進むの現象を誘致したるのみならず諸般の取引上に於て一般の活氣を添へ聊か人意を强ふするに足るの證左は銀行券發行高が昨秋以來漸次增加の一方に傾き十一月に至りて俄然未曾有の千三百萬圓臺を破り爾來今日に至るまで毫も減退の氣配を示さゝるを見て其一斑を推するを得可し無論銀行券及新硬貨の發行增加は一面に於て舊貨引上の原因に基きたるは事實なりと雖も引上の程度が遙かに發行の速力に及ばざるは其間の消息を推知するに難からざる所以たらずんばあらず貿易の如きも本年一月より五月に至る輸出の累計は七百三十六萬餘圓にして前年に比すれば百三十萬餘圓を增加し輸入累計は千二百九十一萬餘圓にして前年よりも七十餘萬圓を減じたり輸出の增加は重もに豆粕の相場が昇騰したるに依るものなりと雖も斯の如き增減の成績は何れの方面より觀察を下だすも決して悲觀すべきに非ざるは多辨を要せざるなり其他預金貸出の趨勢より爲替關係に至るまで時に小波動的の變異を免かれ能はざりしは別表を閲して詳かに知ることを得可しと雖も之に對して形勢の不眛を感ずるものは斷じて之なかるべし今や漸く農繁期に入り是れより以降八九月を過ぐるの交に至らざれば經濟上活氣を呈するの時期に達せざる可しと雖も然れども本金庫の關係並に前途起る可き公私の事業等を豫想する時は銀行券は必ず其增發を促がされ從て斯界も亦徒らに偷安に耽るゝを許さゞるべき乎

京城手形交換所

手形交換高

七月	金高	枚數
一日	九九、四二〇、九九〇	二五二
二日	六三、八九六、一五〇	二六八
三日	休	
四日	六九、五四三、六二〇	三〇一
五日	一七二、五六三、五二〇	三六四
六日	六六、一七〇、四三〇	二九七

▲治外法權▼

何か知らぬが本年の帝國議會は半島問題で賑はふ樣な氣がする、併し昔から何れの國でも議會が解散されたり內閣が更迭したりした例は無い、桂內閣たる者安心して鷄をりよるうが良い▲只茲に注意す可は鷄を割くに牛刀を使はぬ事だ、此點に付ては偶然ながら古人も蹟を遺してある、ドウも此頃の形勢では萬事が牛刀式に流れソウだ、費用倒れを慮かつて減らず口をたゝいて置く▲韓鐵工事の年數繰上げは始から判つた事だ、京元、湖南兩線の開通は遲くも四十六年たとは記者が曩日東上中に聞いた事だ、思ふに兩線沿道の繁昌も蓋し遠からずか▲太平洋汽船會社は三万五千噸の新造船を以て太平洋第一と誇らんとして居る、英國キュナード汽船會社は六萬噸の巨船を造り世界第一と誇らんとして居る、我鐵道管理局は待遇の粗末を以て世界第一と誇らんとして居る、嗚呼誇る事にも事をかいて關釜連絡にヨタ船を使ひ、賃金の不廉、▲我京城商業會議所の會頭が辭期の如く換つた、之れで會議所從來の弊が一掃され、同時に積極的に働く樣になつたら結構な事だ▲會議所〳〵と云へど其働きの如何は會議所を組織する議員其人の如何にありだ、今度選出された議員の中には高等敎育を受けた人達もあるとの事だ、議員人物の向上は會議所の興望を重からしむる所以だ▲ドクトル、ハーゲマン曰く女を厭かしむるに秘傳あり、韓民を懷かしむるに秘傳あり、人ドクトルに就いて其秘傳を問へば曰く第一親切、第二親切、第三眞の親切、親切に酬ゆるの故鐵砲はあらずと。

龍山通信

(六日支局發)

▲五月來の豪雨の爲め京義線一山水色間の線路に故障を生じ六日午前二時五十分開城發列車は五十分間延着せり▲來龍中なりし平壤鐵道建設事務所長岡村初之助氏は六日午前九時二十分發列車にて歸任せり▲六日午前十時古城民長は龍山に來り前龍山民長大久保到龍山會計役古市喜太郞兩氏と吏員を集めて夫れ〳〵挨拶を爲せり▲合併後の民會は來る十日頃召集の豫定の由なるが京城民團龍山出張所[illegible]廢止及龍山出張所命名等爾る後發表せらるべし

●晋州居留民の動搖

近來慶尙南道晋州に於ける居留民間には山縣副統監の來任と共に內政に大制裁を行ひ觀察道を廢止する可しとの說傳はり是が爲め商品の仕入を控ゆる者もあれば新事業の着手を見合はする者もあり八百の居留民中一人として職に安ずる者無く頗る動搖し居れる由

●韓銀大阪支店新設

韓國銀行にては今回大阪に支店を設置する事に決定し來る八月一日より業務を開始する豫定にて目下開店の準備中なりと因に同支店長は高瀨久米吉氏也

▲向田幸郞(元警視) 五日水原より入京不知火旅館へ投宿
▲坂東榮次郞(同上) 五日淸川より入京同上
▲飯田章(同上) 五日馬山より入京同上
[illegible] 大邱より入京三日月へ投宿
▲加藤房藏(東洋協會幹事) 五日釜山へ出發
▲菅禮之助(古河鑛山支配人) 同上
▲弓削幸太郞(鹿兒島縣事務官) 同上
▲藤原正文 歸鄕中なりし度支部銀行 [illegible]
▲有山實雄(下關市會議員) 五日入京 [illegible]

龍山通信(六日支局發)

▲五日雨の爲め京義線一山水色間の線路に故障を生じ六日午前二時五十分開城發列車は五十分間延着せり ▲來月中なりし平壤鐵道建設事務所長岡村初之助氏は六日午前九時二十分發列車にて赴任せり ▲六日午前十時龍山居留民は龍山に到り前龍山民長大久保到龍山會計役古市會長太郎州氏と吏員を集め夫れ〳〵挨拶を爲せり ▲合併後の民會は來る十日頃召集の豫定にて龍山出張所廢止及龍山出張所命名等附る後發表せらるべし

●晋州居留民の動搖

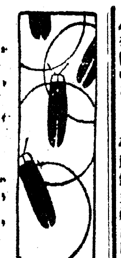
近來慶尙南道晋州に於ける居留民間には山縣副統監の來任と共に內政に大刷新を行ひ觀察道を廢止する可しとの說傳はり是が爲め商品の仕入を控ゆる者もあれば新事業の着手を見合はする者もあり八百の居留民中一人として職に安ずる者無く頗る動搖し居れる由

●韓銀大阪支店新設

韓國銀行にては今回大阪に支店を設置する事に決定し來る八月一日より業務を開始する豫定にて目下開店の準備中なりと因に同支店長は高瀨久米吉氏也

來往人

▲向田寺島(元警視) 五日水原より入京不知火旅館へ投宿 ▲坂東榮次郎(同上) 五日潤川より入 ▲飯田章(同上) 五日龍山より入京 ▲大邱より入京二日月へ投宿 ▲加藤房藏(東洋協會幹事) 五日釜山へ出發



夏季のお料理

▽温突を涼しく見せる法

耳と目で習ひ得たれ料理のお話を致しませう、一つ通がつて書いて試ます。夏季になりますと料理も自然涼しさうなものが歡迎せられます、而して如何に料理が涼しく出來上りましても器物や近所—四邊を涼しく取り繕ろはねば駄目だと申したら夫れは我々温突住居のものには實行出來ぬと云はるゝ人があるかも知れぬが夫れは大なる間違ひだ、心頭を滅却すれば火も又涼しと云つた高僧もあるが此れは凡人には判らぬが温突を涼しく見せる位の設備は何んでもない、先づ大丼の成る可く白色いのへ水を盛つて成る可く小さい金魚又は目高の類を放ち小石を二三個配つて間に小さき草花(白若くは淺黄など最も可、赤は面白からず)を挿み食盞の上に置き窓には簾を捲れ岐阜提灯にでも灯を入れる、洋燈は態と消して點けないも面白からふ、斯くして主人の歸宅を待つ、行水でも遣はして扨て胡瓜揉に鱠の洗ひか何かで一本燗ける決して温突も苦にはならぬものだ、妻君方の働きは斯う云ふ方面に發展して貰ひたい、成る可く大きい丼へ成る可く小さい魚を放すのは其の器をより以上大きく見せんが爲めであるのだが中流以上の方面に至ると庭の芝生には打水の露を宿し翠綠の影を月の光りで青疊の上に描かせ煽風器の涼しい風を吹かせながら御馳走をしたならば趣味は更に津々たるものがある、其所で御馳走の献立は其の時々で種々あらうが成る可く口になまない口に熱を有たぬ物が宜いことは申す迄もない、吸物は鮑の膓清汁、口取代りには源氏鰕、穴子巻き、二色栗鉢肴が鮎ならば申分ないが新鮮ければ鹽燒の善いこと申す迄もない、洗肉は鯉、鯛、チヌ、コチなど、茶碗は上等の材料として鷄、蓴菜などに口柚、水鉢は小格餡素菜琵琶生薑取り交せて氷の上へ載せて出すと云ふ風にしたら見た計りでも隨分涼しい、更に甘煮としては唐ナスの丸煮、此れは甘い直徑三寸位の数をスープで煮て中に詰物をして蒸すのだ、季節料理としては最も上等ものだ、中の詰物は見計らつて善い、而して此れは孃さんや夫人さん達の手に成らねば趣味が少ないのである(む生)

仁川港內の難破船

▽漁船五、艀船七、帆船一

一昨五日の正午頃より山東省方面にありし低氣壓は漸次韓國の中部北方面に襲來して雨天となり同日午後十時より昨六日午前五時頃迄の間は雨量殊に夥しく車軸を流すの觀を呈したり就中京仁間及び平壤は雨量最も多く即ち一昨日の午後九時三十分より昨朝五時三十分に至る八時間の降雨量は左記の如し

京城 百十一粍(換算)約二石
仁川 七十七粍(同)約一石四斗
平壤 三十粍(同)五斗四升

而して風は全韓各地とも強からず只だ仁川だけは風雨最も烈しく怒濤狂瀾淒慘の氣市中を掩へり然れば仁川警察署水上係は專ら港の內外に於ける難破船を未前に防ぐべく盡力したるも遂ひに其功なく日本漁船五隻同艀船七隻韓國帆船一隻の難破船を生じたるが人畜の死傷者なかりしは何寄りにして尙ほ詳細なる損害程度は其筋の手にて取調中

長者ヶ崎投身者

▽京城裁判所書記の妻

去月三十日午後五時頃相州三浦郡葉山村長者ヶ崎の巖頭より寄せては珠と散る濤の藻屑と消ん願にて投身したる婦人ありしも警官の認むる所となり漁船を出して救上げ葉山駐在所に同行取調の結果該婦人と云ふは元韓國法務院長にして東京牛込區佐內坂町四番地に住居せる香阪駒太郎氏の親戚芳子(三二)と分明したるが然るにても何故ありて同人が投身の無分別なることを企てたりやと云ふに此芳子は本姓を南條と呼び數年前より香阪氏方に行儀作法見習ひとして預けられ中同家の書生○野○之○(二九)と私通し妙な作法を覺へたる結果姙娠したるにぞ出來たものなら仕方がないと粋な捌きに夫婦となりしが間もなく香阪氏の赴任となり同時に○野は京城裁判所書記に採用されて渡韓し殘された芳子は後にて男子を分娩せしより横濱の知人へ里子に預け以來香阪氏方留守宅の女中代りとして立働き其內渡韓する都合なりしも何故か○野は憚る所ありとて同人を引き取らぬより味氣なき日を送り身に苦勞の多い事とて臺所の仕事も手落ち勝ちなりし所へ香阪氏は法務院の廢止と共に歸東し夫人禮子も又間もなく歸京したるにぞ其の手落を責めらるゝ事も度々に及び當日の朝も何か失錯あつて太く訓戒されしより遂に世を果敢なみ午前九時半頃無斷家出し前記の始末に及びたるものゝ由申立てたるが實は香阪氏夫妻はよしと○野の許に遣はさんとせしに如何なる故にや同人は之を拒み去る二十九日も其事より香阪氏に抗辯し大に不貞腐れて其の夜は寢に就きしが翌三十日午前よしは金一圓許りと持ちて家出して相州葉山に到りしが寄邊なきより途方に暮れて此の無分別を敢てしたるものなりと云ふが未だ其の奥には何か事情の潜み居るらしき模樣なりと因に香阪夫人禮子は一日朝東京より同地に急行芳子を引取たりと云ふ



女振り

秩父屋內儀 關根のぶ子

秩父屋と云ふのは元南大門通りで開店し後ちに明治町一丁目に移つた呉服商秩父屋のことである、其の名の示す如く主人關根寅吉君は武州は埼玉縣秩父郡大宮町の人である、君と同姓同名の人が確か本庄か深谷にある筈だ、其の人は埼玉新報社長の老壯士川上參次君と並んで埼玉縣の二人男と云はれたものだ、女振り子折惡しく駈け違つて會つた事が無いから同名異人だか何うだか判然せぬ、併し產地が違ふから無論同名異人だと思ふ、が此の寅吉君の實家は同地方有名な機業家であることは寡聞ながらも小生存じて居る、寅吉君は頗る小柄の肝癪持である、れのぶさんは東京は日本橋堀留の太物問屋のれいさんと申して本年三十一、長女にれ娘子さんで本年十八になる方がある筈だが此れは先妻の御遺子と承知する、のぶ子さんは同情の深い申分のない御內儀だ、現に先日も斯う云ふ事があつた、寅吉君朝貌を仕立てるのに土が入用ので店の者に取つて來いと命令た然るに命令られたものが未だ幼年者で方々迂路付いた結果「有りません」と歸つて來た寅吉君怒るまいことか「馬鹿野郎ッ、金の無い國はあるだんべゑが土の無へ國があるけゑ」と怒鳴り付けた、とのぶ子さん裏口から尻端折で出て行つたが少時して芥取に土を取つて來て叱られた小僧を小蔭に呼んで「取つて參りましたと持つて行でよ」と以て其の人となりを知るべしだ

犯意なき微罪檢擧

▽果して當を得たりや

犯罪にして法律上罰す可き行爲は如何なる微罪にしても社會公安の爲めに之れを檢擧告發するは當該官吏の職務として大に賞賛す可き事なるが一時の不注意の爲め其意志にあらざる行爲が罪となり罰金若しくは拘留處分となる事も屢々なるが然し犯意なき微罪は取扱ひたる警官の手腕に依りて說諭處分位にて悔悟せしむる樣努められたきもの也

本町六丁目八十五番戸菓子製造業岩本きぬ(四二)は六月七日迄自宅の裏にありたる塵芥箱が何者にか盜まれしも新造間に合はざりしより同家の裏手にある河中に小豆粕を投棄したるに巡回警官は一定の塵芥容器を備へずして投棄したるは不都合なりと叱り飛ばしたる其の上除穢規則違犯として告發檢事局に送りしより京城裁判所に於て審理中の處昨六日罰金一圓に處せられしが此の手心は漢城府や民團に應用しドシドシ彼れ等を檢擧せられたきもの也

昌德宮 女官補の道樂

▽一圓三十錢で彩票一枚

北部順化坊樓閣洞百二十統一戸洪承範(四二)は六月二十四日西部盤松二判洞百六十統二戸崔淳弘方に遊びに行きしに目下昌德宮に出勤し居る女官補なる崔の娘順惠に彩票を買來り與れと頼まれ金一圓三十錢を受取りしが以前自分一回彩票を買ひ金九圓の利得を得たる事あるより當れば幸福なりと思ひ自分も一枚買ふ事に決し金作し都合二枚一昨五日午後四時頃銅峴通り支那人德興號に至り買ひ歸らんとする處を警官に認められ告發目下取調中なりと

●人夫の賃金強請

佐賀縣平民當時明治町三丁目九番戸土木建築請負業武藤惣三郎(三二)は各所の建築工事を請負ひ毎日韓人夫十五六人を使役しつゝあるが一昨五日より龍山に至り六日になり歸らざりしに人夫等十五六人打連れ武藤方に押し掛け日當を請求し支拂はざれば亂暴に及ばん事勢なるより其筋に救護を願出武藤の方にては店員奥村喜太郎なる者主人に代り金策して日給を支拂たるに人夫の內朴樵鎬外六人の者に對し尙ほ一日分支拂不足あるとて八釜間敷く云ふより警官出張して主人歸宅迄延期す可き旨諭し引取しむ

●南部署長の希望

新任南部警察署長今村警視は無頼惡漢が良民に害を加ふる取締を勵行し夫々相當の方法を講し嚴重なる檢束を加ふる由なるが由來此種の被害者は後難を恐れ申告する者稀れなるを以て民衆の側よりも見聞したる事項は匿名投書其他の適當の方法を以て密告せられん事を望むと云ふ而て申告者に對しては毫も警察署に於て迷惑を感ぜしめざるを以て安心して密告せらる可く猶は屆出等にして簡易なる者は電話を以て爲すも差支なし

●糞を食つて死す

南部樂善坊後洞六十統十九戸沈姓女(二二)は生來癲癇病の氣ありて十七歲の頃より屢々該病の發作を見つゝありしが一昨日午前九時頃便所に行き長時間を經過するも歸り來らざるより家人はモシヤと鬪屋を見しに沈姓女が便所の糞池中に俯伏し絕息し居るより之を引き揚げ衣類其他身體を洗ひ家內に運び一方警察に屆出しより銅峴分署より韓人警部並に岡本醫士同行檢視の上埋葬を許したりと

●大賊に判決言渡

六月十日の紙上に西部署の大賊捕縛と題し報導せし福岡縣早良郡原村字七隈千三百七十番地力丸安雄が五月三日永登浦監獄出獄後各所を荒し數千圓の贓品を入質若しくは賣却し酒色に費消し逮捕せられし事は當時報導せし如くなるが爾來京城裁判所に於て審理中の處懲役二年

●御婦人方へ福音

大阪土佐堀通り二丁目田坂商店にて清白粉と名付け賣り出したる衣類洗濯用材料は元來大阪砲兵工廠に於て機械油に汚染せるものゝ洗濯材料として輸入使用しつゝありたるものなる由なるが同粉が垢を去り汚點を除く効力は實に驚くものあり當地にては南大門通り三丁目同支店に於て實地應用試驗をなしつゝ賣り擴め居れり本劑にして一般に使用せらるゝに至れば時間を節約し經濟にもなるべし兎に角散步旁々同店に就き實地試驗の狀を一覽せらるべしと御婦人方にれ勸めする

●燒酎瓶とソース

麻浦洞柳姓女なる者燒酎(一瓶二十錢)並に「ソース」一瓶十錢の物を頭部に載き黃金町を通行の際後方より本町四丁目末永商店前田仲藏(二三)が自轉車を乘り掛け柳姓女を衝き倒し爲めに携帶の燒酎瓶等を破損せしより銅峴分署に訴へ出しが前田より損害金六十錢を支拂て事濟み

●女郎の廢業

新町遊廓京城樓自前にて開業せし女郎房子事有本梅野(二三)は昨六日限り泥足を洗ひ郷里和歌山に

●如雲の好人氣

四日より歌舞伎座に開演せし桃中軒如雲は非常の好評にて初日は開場後一時間にして木戸止めとなり二日目は雨天なるも押して開場せしが昨日は非常の豪雨なりし爲め遂に休場し晴天になり次第開場の筈如雲の讀口は全く雲右衛門式にして悠揚迫らざる態度大に傾聽に價す何れ次號に細評すべし

●浪花館

浪花節吉川秀廣一座七日の番組は毎夜讀み續きにて左の如し

宮本左門之助(吉川辯奴女)荒川秀丸(浪花松鶴)掛川評定柳生朝比奈相生 建中(吉田松葉)筑前騷動田宮重吉(吉川秀奴女)米澤評定金子春太郎(岡本伊之丸)建久美談曾我物語義士本傳(吉川秀廣)每夜兩席長讀

●壽座

八日の代り番組左の如し

毬の曲藝種々(龜次郎)尺八合奏種々(花堂)地獄回り(金馬)大切新作喜劇

今日の運勢

七月七日舊五月卅日三碧佛滅 癸酉 平

●一白●山金鳳の業に吉旅行移轉見合すべし●二黑●餡路多き日 賣買貸借取引尤も注意の事●新事旅行凶●三碧●不得要領の日諸事手控への事●信特異を致するあり●四綠●分別決定間違ひ易き日なり街色情痴情の破れを戒しむ●五黃●建築動土に吉盜害紛爭注意の事新事見合せたるべし●六白●進退駈引間違ひ易し新事旅行見合せの事●七赤●誘言提求に陷り易し建築農業に吉新事旅行見合せの事●八白●徒勞多き日●保證受印世話事を禁ず新事企劃効なし●九紫●願進の月大抵吉但し背信の行爲にあふ事あり

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目
電話一千四百〇九番
ゑり徳商店

廣告

一鴨綠江松材現木
長サ八尺五寸以上二間半
一尺五寸角以上二尺迄
右木材多數所有致し居候に付
特別安價に賣却仕候間御望の
方は御來談被下度願上候
京城旭町三丁目　電話五八六番
建築業　柴田芝六

表具部開業
表裝額屏風天井壁張及表装一切
並書畫の需用に應す
旭町三丁目三日月湯隣
柴田表具部
主任　眞網光島小久太雄郎
(電話五六八)

京城曙町(電話一八七番)

統監府御用
宮内府御用
軸物表装
金銀屏風
額面襖式
壁張天井張
石川表具店

裁縫割烹教授所
規則書御入用の方は郵便切手二錢御封入之事
京城南山町三丁目三十番
野村さわ
(電話一四二〇番)

夏の和樂園
御料理
席貸
高田家
電九三七
不相變御引立之程乞

京城西小門通六番戸
入院
隨意
菅醫院
電話一三一五番

入院隨意
京城旭町三丁目(電話三七八番)
中島醫院
院主醫學得業士
中島貞信

●朝鮮唯一の土産夏季滋養●夏痩の人は必ず飲め
賜東宮殿下御買上之榮
清國領事館御買上品
韓國京城博覧會褒状受領
(井)滋養強壯人參飴
世界第一等の滋養品
牛乳鷄卵に優る効數倍
京城本町二丁目
元祖發賣元　井口順生堂藥房
本品は滋養剤として東洋第一と稱せらるゝ朝鮮人參を以て精製したる物にて朝鮮唯一の御土産品なり
本品は殊に夏季の强壯剤として頗る適切有効なるを以て何卒一度御試用の上御好評を仰ぐ
◎特約販賣店は京城、釜山、仁川、平壤、開城、龍山、鎭南浦、元山及各地有名藥店雜貨店に於てす最寄にて御買求を乞ふ
京城本町二丁目(電話一九九番)
井口大藥房
京城大販賣店
亀屋(本支)
青木堂店

廣告
前間恭作氏著
韓語通
定價壹圓五十錢
郵税十錢
今回貳千部に限り壹圓廿五錢にて販賣可致候間御注文の程奉希候
韓國京城本町五丁目
和洋金物商
(釘)釘本藤次郎本店
長電話四五番　電信略號(ク)
振替貯金口座韓國(二五六)

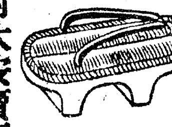
本店開業拾五ヶ年祝
弊堂開業後滿十五年今日の隆盛は全く各位御愛顧の賜ものに外ならずと確信仕候に就き此際祝意を表すると共に平素の御愛顧に酬ひんが爲め且つ層一層販路擴張の目的にて「タバン」懷中時計三千個及び「アンソニヤ」掛置時計三百個を限り四月一日より九月三十日迄本社の命に依り何方様へも卸直段にて販賣することゝ相成り左記特約店を設置致候間最寄りの店にて續々御購求の程願上度此段廣告候也　敬白
瑞西タバン懷中時計會社韓國代理店
米國ウオルサム時計韓國特約販賣店
米國アンソニヤ掛時計韓國特約販賣店
携帶電燈各種特約販賣店
時計卸商　喜多金光堂本店
仁川本町三丁目(電話七〇五番)
時計卸小賣　喜多金光堂支店
京城本町二丁目(電話一〇二五番)
右特約店　金化堂時計舗
京城本町一丁目憲兵分遣所前(電話一三八番)
各地方より御注文は發送實費申受候

金錢貸借
電話讓渡
土地家屋賣買
老舗
人事百般其他
周旋業
京城明治町一丁目勸商場前(電話一二九八)
明治屋

無比勉強
かやわた
關戸蚊帳株式會社韓國代理店
吳服太物
洋反蒲團
調進
京城明治町一丁目
唐川商店
電話二六一番
新案特許製綿韓國一手特約店

資本金壹百萬圓
大阪火災海上運送保險株式會社
(本社大阪東區備後町)
京城代理店
官製煙草元賣捌店
京城本町四丁目
三共商會
電話四一三番
保險料は低廉にして極めて簡便に御契約可仕候

きゝめのある温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りん病
よこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せんき
膓胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を併用すれば尤も効能あり
京城本町一丁目郵便局前
貸席
鐵冷温泉
電話千四百十一番


六月一日ヨリ
岐阜提灯賣出し
利益なし元價の
一張二十五錢

東京足袋
本店東京
京城大和町一丁目
(日の出橋際)
大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ

正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升
奥出洋服店
京城櫻井町五十七番ノ一(電話一二五五番)

旅館
京城南山町三丁目
京城ホテル
電話長一三番
四九一番
日本室和食
特等(三圓五十錢)
一等(二圓五十錢)
二等(二圓八十錢)
三等(一圓六十錢)
(一圓五十錢)

資本金　一千萬圓
積立金　五百四十萬圓
株式會社第一銀行京城支店
電話一一番　六一一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
本店　東京市日本橋區兜町
支店及出張所　大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大坂町(東京)、兵庫、伏見、西區(大阪)、釜山、
其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外預金貸金、爲替等普通銀行の業務を精々確實親切に取扱申候
支店出張所　仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、安東縣、新義州、
爲替取引先
日本　東京、京都、大阪、橫濱、神戸、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大坂西區、松山、廣島、長崎、
韓國　公州、光州、晋州、全州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、
清國　義州、咸興、大連、遼陽、旅順口、奉天、鐵嶺、長寨、牛莊、天津、北京、
其他　漢口、上海、
外國　香港、桑港、紐育、倫敦、巴里、里昂、
韓國銀行

特約販賣
味噌醤油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
自製
大上商店
ビール
新茶大賣出し
(電話二五一番)

印章彫刻
ゴム印彫刻
京城本町四丁目
赤帽子號印舖
電話九三番
諸官衙御用達
奥野岩太郎

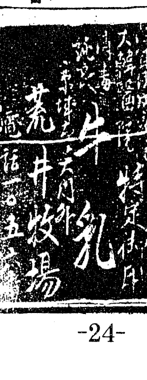
明治廿年七月創立
東京火災海上運送保險株式會社
資本金一千萬圓
京城代辨店　本町四　山口呉服店電話九番
●事務所　京城南大門通二　電話一〇六〇番

諸紙
和洋帳簿
印刷
各種製本
紙と印刷
諸官衙御用
播本商店
京城本町六丁目
電話百拾番

歯科治療
本町六丁目
ドクトル　中村安子
(銀そば横町)電話一五八三

諸官衙御用
營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類
委託販賣
東京ランバート商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
東京(?)(?)(?)合資會社(?)特約
藤田合名會社
本社　京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所　京城南大門通一丁目(電話三六九二番)

★株式會社百三十銀行韓國京城支店
京城本町二丁目十五番地
電話五十八
資本金五百萬圓
頭取　安田善三郎
爲替取組先
畿内　大阪、京都、西陣、伏見、奈良、山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市
東海道　名古屋、東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、山田、桑名、松阪、半田、熱田、四日市、津、
東山道　岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、土崎、高崎、彦根、八幡、大津、長濱、大垣、
北陸道　小濱、福井、敦賀、舞鶴、新潟、
山陰道　大聖寺、富山、伏木、新湊、金澤、米子、境、松江、今市、大田、濱田、鳥取、
山陽道　岡山、姫路、西大寺、笠岡、高梁、龍野、福山、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、徳山、小郡、長府、網干、
南海道　牛窓、味野、岩見、岡山、和歌山、丸龜、高松、多度津、新宮、徳島、善通寺、尾道、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱、
西海道　直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、
北海道　函館、小樽、札幌、
台灣　臺北、臺南、
韓國　仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晋州、尙州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候



●●●滋養と牛乳●●●
純良牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
電話壹〇六九番
●●●衛生と消毒●●●
馬車配達

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金　參百萬圓
積立及繰越金　九拾五萬圓
株式會社十八銀行京城支店
京城南大門通
(電話四二〇)

本店　長崎市築町
支店　京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
出張所　大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
韓國　日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金(利息日歩壹錢二厘)一口壹錢以上何程にても御預り申上升
長崎貯蓄銀行代理店
(十八銀行京城支店)